知財の広場

注目の知財キーワード「**経営デザインシート**」

あけましておめでとうございます。今年も、INPIT 滋賀県知財総合支援窓口を宜しくお願い致します。

さて令和2年最初のコラムは、「経営デザインシート」について紹介させて頂きます。

経営デザインシートとは、2018年5月に内閣府の知的財産戦略推進事務局が公表したもので、将来を構想するための思考補助ツール(フレームワーク)と説明されています。環境変化を見据え、自社や事業の「これまで」の理解に基づき「これから」を構想し、それに向けて今から何をすべきか戦略を策定するためのツールです。中小企業においても、自社が進むべき将来像が明確化できたり、社員や金融機関等の関係者と目指す方向が共有できたりするなどその効果が認められ、昨年話題となりました（2019/10/28 付日本経済新聞朝刊にも掲載されていました）。

その特徴は色々ありますが、①1枚で全体を俯瞰できること、②「これまで」と「これから」という時間軸を意識できること、が大きいかと思います。経営デザインシートは下図のように1枚のシートに（A）企業理念／事業コンセプト、（B）これまでの価値創造メカニズム、（C）これからの価値創造メカニズム、（D）これまでからこれからへの移行の戦略、を記載するようまとめられています。特に（C）これからの価値創造メカニズムは、これまでの延長線で将来像を考えるのではなく、未来のありたい姿（価値）から、必要なビジネスモデルや資源をバックキャストして考えることでビジネスモデルの抜本的な転換を模索することが特徴となります。

経営デザインシートについては、知財総合支援窓口でも中小企業診断士や専門家を活用しながら支援させて頂きますので、ご活用下さい。

知財ナビゲーター　田中　和男

出典：内閣府知的財産戦略推進事務局　説明資料「経営デザインシートについて」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei_design/index.html